

財政収支(1-5月)

(1) 1-5月の歳入は前年同期比101.0%増、税収は同99.1%増。歳出は前年同期比97.9%増。
 (2) 結果として1-5月の財政収支は4,719.03億リラの赤字(前年同期比79.0%増)、プライマリーバランスは32.44億リラの赤字(同112.6%減)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2023年1-5月(A)	2024年1-5月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	16,121.24	32,401.47	101.0%
税収	13,711.53	27,302.39	99.1%
所得税	2,130.83	4,813.21	125.9%
法人税	2,806.93	4,519.78	61.0%
付加価値税(国内及び輸入)	4,220.01	8,902.36	111.0%
特別消費税	2,513.24	4,970.55	97.8%
その他税収	2,040.52	4,096.49	100.8%
税外収入等	24.10	50.99	111.6%
歳出(b)	18,757.15	37,120.50	97.9%
人件費	4,497.60	10,777.21	139.6%
物品及びサービスの購入	1,356.31	2,236.99	64.9%
経常移転	7,901.44	14,581.38	84.5%
資本支出	1,079.66	2,145.67	98.7%
支払利子(c)	2,378.69	4,751.47	99.8%
その他歳出	1,543.45	2,627.78	70.3%
財政収支(a-b)	▲ 2,635.90	▲ 4,719.03	▲ 79.0%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 257.22	32.44	112.6%

経常収支(2024年1-4月)

(1) 2024年1-4月の経常収支は、161.25億ドルの赤字(前年同期は296.71億ドルの赤字)。
 (2) 2024年1-4月の貿易収支(物品)は221.02億ドルの赤字で前年同期から赤字幅減少、旅行収支は87.45億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

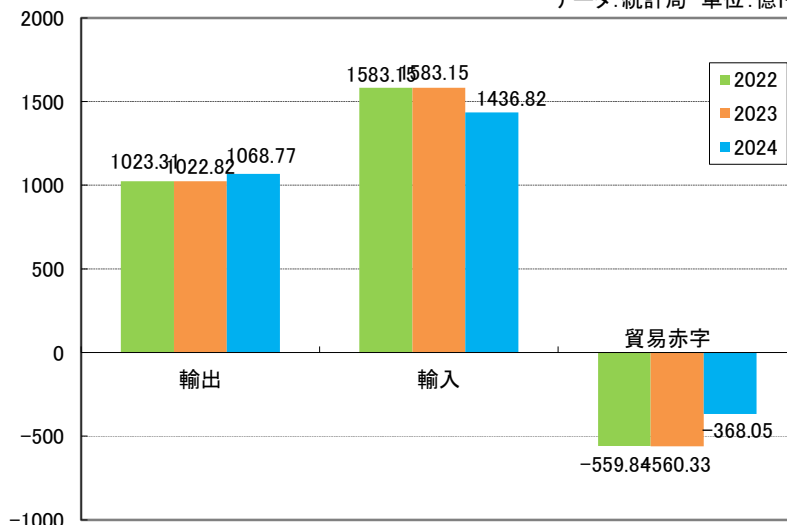
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2023年1-4月(A)	2024年1-4月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 296.71	▲ 161.25	45.7%
貿易収支(物品)	▲ 366.49	▲ 221.02	39.7%
サービス収支	107.90	103.10	▲ 4.4%
旅行収支	83.76	87.45	4.4%
第1次所得収支	▲ 38.78	▲ 46.69	▲ 20.4%
第2次所得収支	0.66	3.36	409.1%
労働者送金	0.89	0.35	▲ 60.7%
資本移転等収支	▲ 0.56	0.01	101.8%
金融収支	▲ 352.73	▲ 311.09	11.8%
直接投資	▲ 19.99	▲ 11.41	42.9%
証券投資	15.35	▲ 57.80	▲ 476.5%
その他投資	▲ 136.54	9.22	106.8%
外貨準備	▲ 211.55	▲ 251.10	▲ 18.7%
誤差脱漏	▲ 55.46	▲ 149.85	▲ 170.2%

貿易収支(1-5月)

(1) 1-5月の輸出額は1,068.77億ドル(前年同期比4.49%増)、輸入額は1,436.82億ドル(同9.24%減)となり、この結果、貿易収支は368.05億ドルの赤字(同34.32%赤字幅縮小)となった。
 (2) 1-5月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は42.1%(前年同期は42.2%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は32.5%(前年同期は27.8%)となっている。

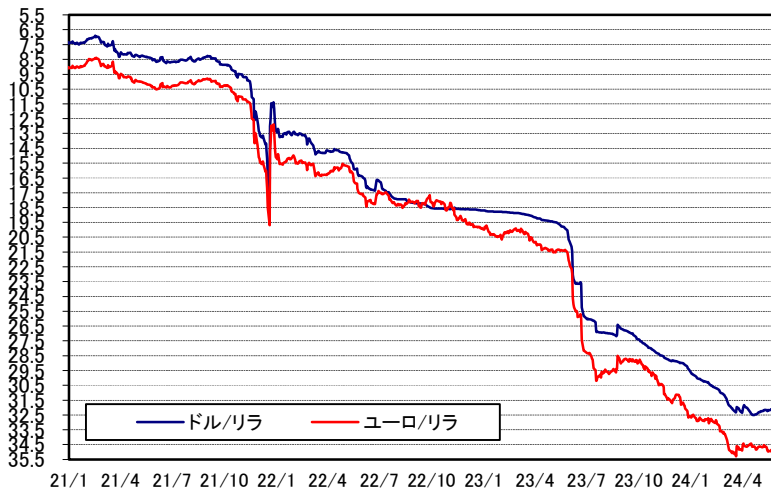
データ:統計局 単位:億ドル



為替(6月)

27日の金融政策委員会で政策金利の据え置きが決定され、金融引締めは維持され、今月も比較的為替は落ち着きを見せている。月末は1ドル=32.82リラ(前月末比2.1%安)、1ユーロ=35.12リラ(同0.9%安)となった。

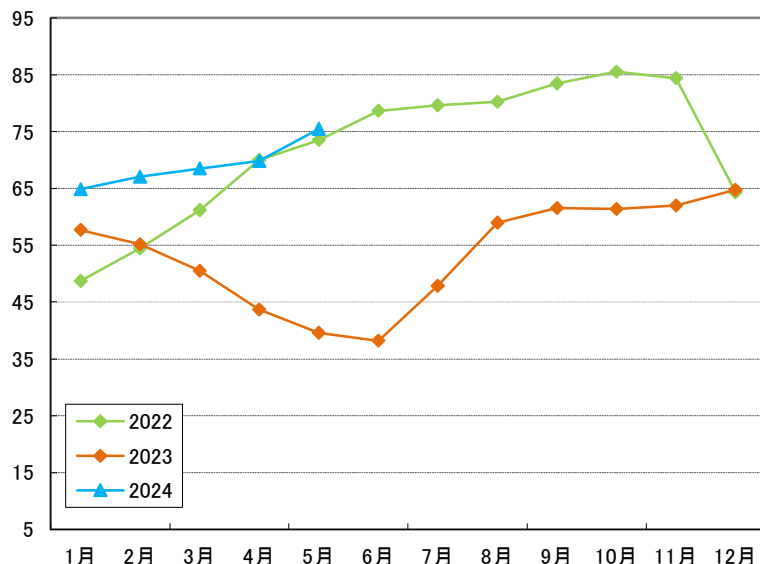
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(5月)

- (1)5月の消費者物価は前年同月比75.45%増、前月比3.37%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比104.8%で教育が、前月比9.6%で履物及び衣類が最も上昇した。
- (3)2024年末のインフレ率の中銀目標(5/9時点)は前年同月比38%。
- (4)国内生産者物価指数は前年同月比57.68%増、前月比1.96%増となった。

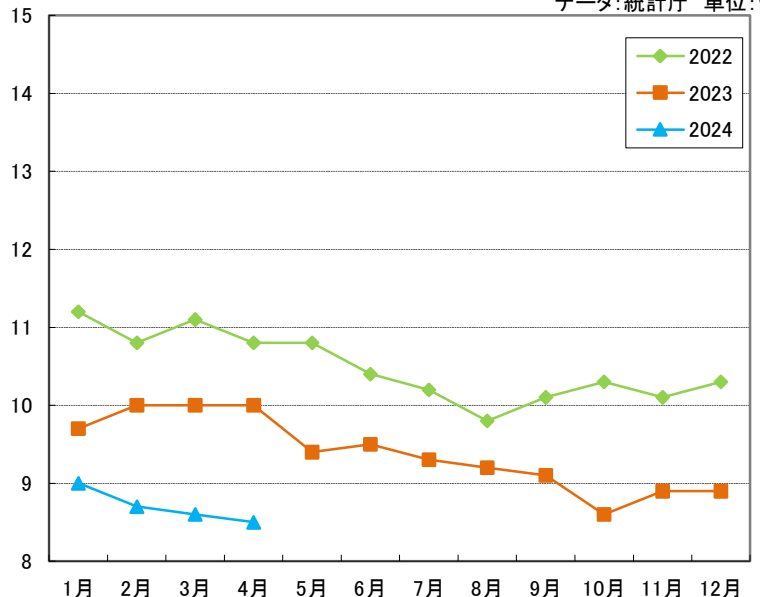
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(4月)

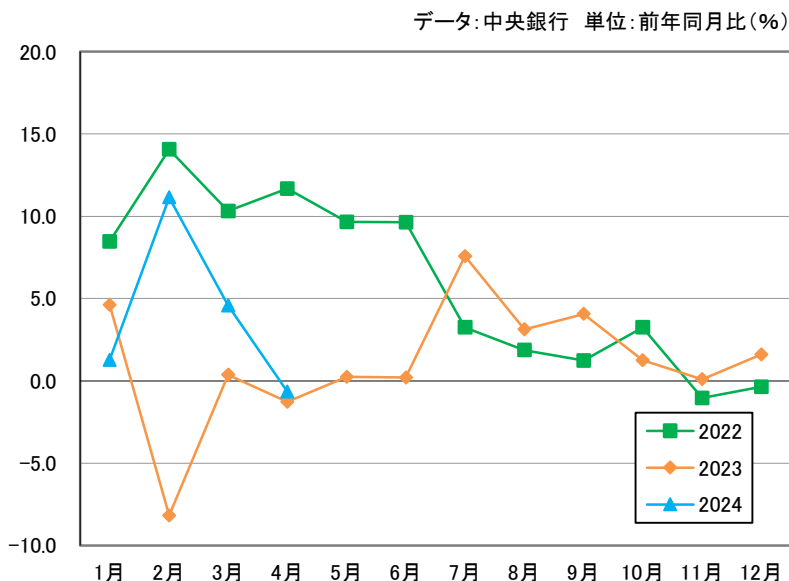
- (1)4月の失業率(季節調整後)は8.5%となり、前月から0.1ポイント減少。
- (2)労働力人口は3,566.1万人、就労者数は3,261.8万人、失業者数は304.2万人。
- (3)男性の失業率は7.2%、女性は11.1%。若年層(15-24歳)の失業率は14.5%となっている。

データ:統計庁 単位:%



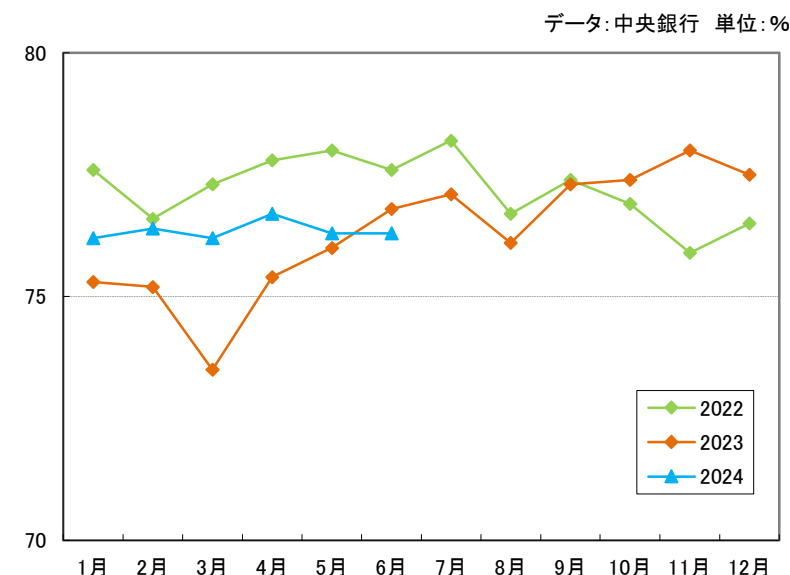
鉱工業生産(4月)

(1)4月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)0.7%減。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比2.8%増、資本財が同5.8%減、中間財が同1.2%増となった。



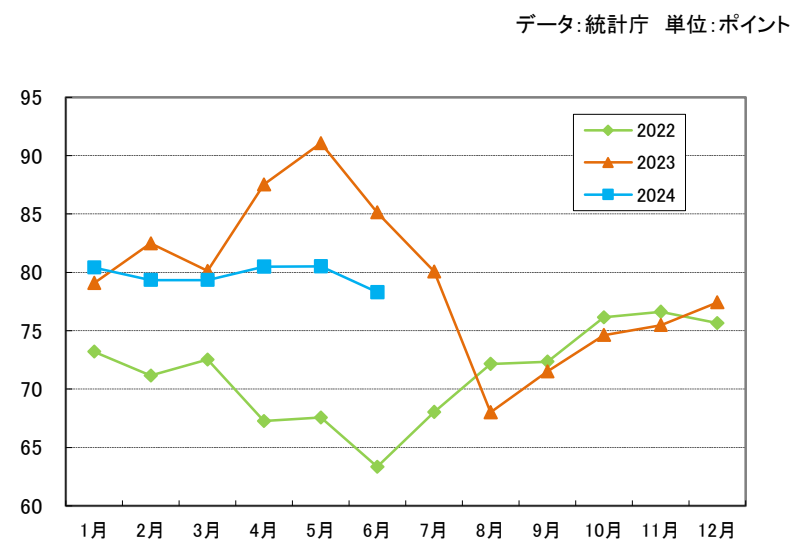
設備稼働率(6月)

(1)6月の設備稼働率は76.3%となり、前年同月から0.5ポイント減少し、前月から変化なし。
 (2)製造業の分野別では、材木、木製品及びコルク製品製造業(家具を除く)(83.4%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(64.6%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(6月)

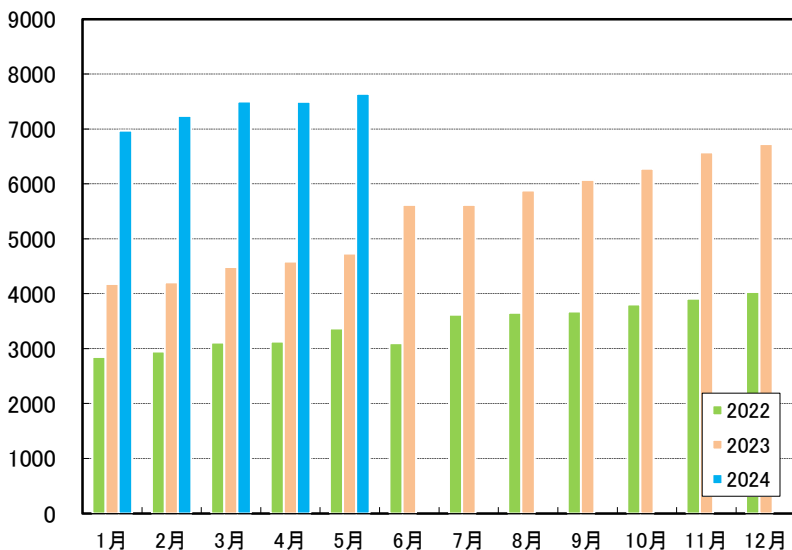
(1)6月の消費者信頼感指数(季節調整値)は78.3ポイントで、前月から2.2ポイント減少。
 (2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から減少した。



中央政府債務残高(5月)

(1)5月末時点での中央政府債務残高は7兆6,413億リラとなり、前年同月比61.4%増、前月比2.0%増となった。
 (2)また、国内債務比率は48.6%、自国通貨債務比率は39.2%(2023年末は35.8%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.7%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

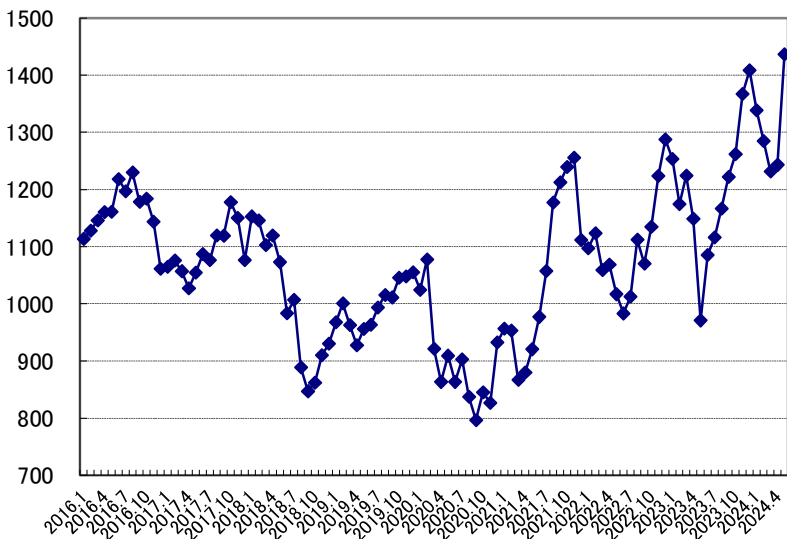
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(5月)

(1)5月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,436.48億ドルとなった。
 (2)前月から193.58億ドル増加した。

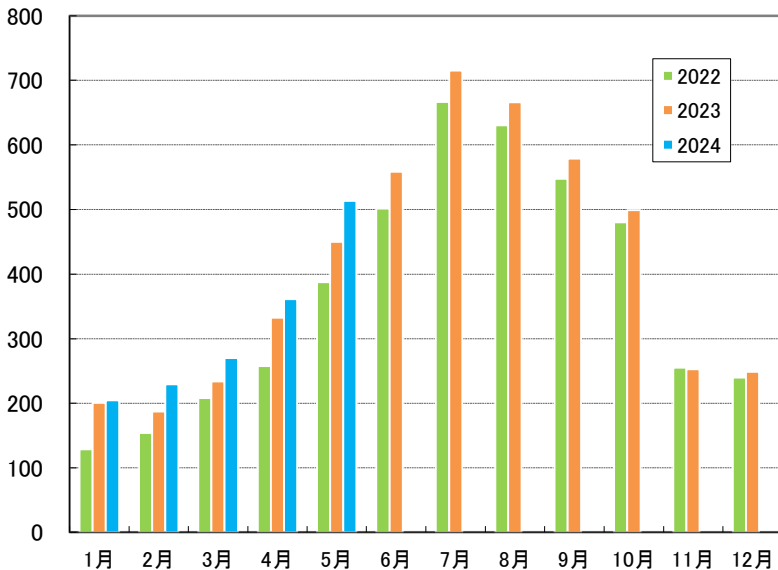
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(5月)

(1)5月の外国人訪問者数は5,130,119人で、前年同月比14.0%増。日本は10,217人であった(前年同月は5,756人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、739,017人で全体の14.41%を占め、以下、ドイツ(729,505人)、英国(550,592人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

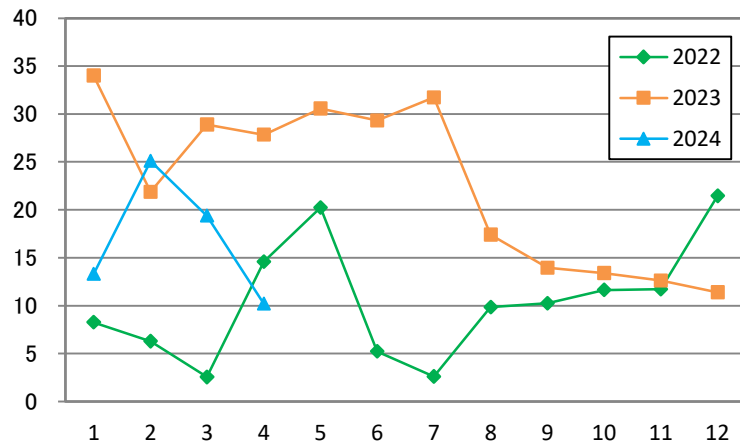


小売売上高(4月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)4月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)10.2%増、前月比(季節及び日数調整後)1.8%減。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比10.1%増、繊維・衣料が同1.5%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同22.3%増となった。

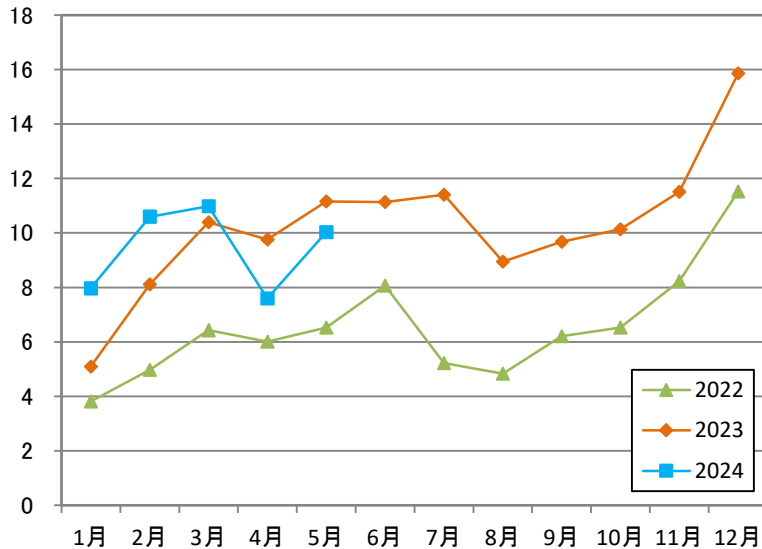


新車販売台数(5月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)5月の新車販売台数は100,305台で前年同月比10.09%減。

(2)5月の内訳は乗用車が80,260台(前年同月比8.19%減)、小型商用車が20,045台(同17.0%減)となった。



住宅販売戸数(5月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)5月の住宅販売戸数は110,588戸で前年同月比2.4%減となった。

(2)5月は新築が35,558戸(前年同月比3.3%増)、中古が75,030戸(同4.9%減)。

(3)5月の住宅ローンでの購入は9,909戸(前年同月比63.9%減)、その他が100,679戸(同17.3%増)。

